

鈴木信太郎

1961年9月8日生まれ
コピーライター

天国への階段、練習しよう
と思います。



清水義央

1957年4月19日生まれ
プログレバンドKENSOのリーダー&
ギタリスト、歯科医師、医学博士



高校2年の時に ZEP のコピーバンド KENSO を結成。その後、プログレッシブ・ロックからの影響の強い音楽を作り始める。代表作は「セカンド」「夢の丘」「うつろいゆくもの」、DVD「Live in USA」。2012年、キングレコードより14枚組の「KENSO COMPLETE BOX」をリリースした。約39年の活動期間を通し、創作姿勢から変則チューニングまで、ZEP は常に師であった。2014年発売予定の新作には、ZEP への敬意と感謝を込めた渾身の作品「A SONG OF HOPE」が収録される。最近では、RX の最新作や海外のプログレバンドのアルバムでも客演している。ちなみに KENSO のドラマー・小森啓資は、70's ヴィンテージ・ラディックのグリーン・スパークル、アンバー・ピスタライト、ステンレス・スティールのキットなどを所有する「ボンゾ・フリーク」である。
【KENSO ライブ】日時:2014年8月17日(日) 16:30開場 17:30開演/場所:CLUB CITTA' /料金:前売り7,000円(税込)、当日7,500円(税込) オーダー別/問い合わせ:クラブチッタ 044-246-8888 /詳細は <http://www1.u-netsurf.ne.jp/~kenso/>
●KENSO の新作「内ナル声ニ帰セヨ」は7月23日にキングレコードよりリリース予定です。

ZOSOJH

1955年11月22日生まれ
なんちゃって ZEP ファン



最も多感な14、15歳のころに ROCK の洗礼を受けた僕にとって、ZEP は一生忘れられないバンドです。解散後、数十年たっても事あるごとに思い出して、iPod で聴いていける作品を残してくれた。そのことにひたすら感謝。全く古びないサウンドであることは驚き以外の何物でもない。僕にとって「カッコいい」とはただスカしてカッコいいだけではダメで、「カッコよすぎて笑っちゃう!」くらいじゃないとダメなわけです。その点、ジミー・ペイジの衣装や振りは「満点(笑)」です。あの衣装と振りなのに、繰り出すリフはめちゃくちゃカッコいい。そういう価値基準を、僕に教えてくれた最初のバンドでもありますね。ミック・ジャガーやキース・リチャーズも、まあそうですね(笑)。ZEP は顔で笑わせるバンドじゃないとこが凄いわけです(笑)。

Jimmy SAKURAI

1963年10月4日生まれ
MR. JIMMY /
LED ZEPAGAIN /
TheVooZe ギタリスト



17歳の時にレッド・ツェッペリン、ジミー・ペイジに魅せられて以来、コピーからトリビュートへとペイジのフォロワーとしての音楽活動を続けています。各年代ごとの機材や奏法を含めてアレンジの研究、ギタープレイングポジションやギターピックアップのチェンジングなど特に音色に拘って細かく再現に務めています。それらのうち一つでも妥協してしまうとツェッペリンの持つ曲やパフォーマンスの魅力に近づけないと考えているからです。一昨年10月にはジミー・ペイジ本人が私のパフォーマンスを楽しんでくれる機会があり、念願のペイジとの面談が実現出来ました。30分近くにも及んだ「幻惑されて」の演奏を高く評価していただき、これまで拘って続けてきた事への最高の褒美となりました。